

【水の里の旅コンテスト2018 応募企画】

【一般部門】

株式会社せとうち観光社

『 四国の源流 石鎚山脈から瀬戸内海へ。命の水を巡る旅。 山は海の恋人、海は山の恋人。 』

(観光地域：愛媛県 西条市、今治市)

【日程】	2泊3日		
【実施時期】	夏(実施時期：7月～9月)		
【催行人員】	20名(最少催行人員：15名)	【お勧めする旅行者層】	環境に関心が深いアクティブシニア
【旅行代金】	52,000円 (大人1名)	【内訳】	
		2泊3日(食事1日目：昼夜 2日目：朝昼夜 3日目：朝昼) バス代 230,000円 保険料 347円 こけし食堂1,000円 道の駅お弁当 1,000円 宝物館入館料1,000円 バーベキュー3,000円 ゆきもと農園 700円 宿泊費 22,500円(平日)(2泊3日) 有料道路 6,880円 潮流体験1,200円 ガイド 38,000円 添乗費 30,000円 その他乗務員経費等 15,000円	
【企画趣旨(伝えたいポイント及び旅行者が満足するポイント)】			
<p>「水は山から海へ、海から山へ」。西日本最高峰の石鎚山を抱える西条市は、海から山までの多様な自然環境を有します。また、山と海とが近いため、山から海へと流れる水の循環が、人間とどのように関わっていくのかを、一度に体験できる全国でも数少ない地域です。またすぐ隣には美しい多島美を有するしまなみ海道があり、山の恵みによって生まれた海の魅力を体験できるツアーとなっています。西条市と今治市を山と海で繋ぎ「水の循環、水と人との繋がり」をテーマに企画。石鎚山脈で三番目に高い標高1,897mの瓶ヶ森から西条市内そしてしまなみ海道を巡る旅です。普段見ることのできない神秘的な絶景や、美味しい食べ物。水の豊かな町だからこそ発展した文化や産業。全国でも貴重な干潟や、生活用水や農業用水をほぼ湧き水で生活する西条市の魅力をたっぷり体験できる内容になっています。またそれだけでなく、山の恵みで生まれた海も同時に巡ります。</p> <p>一日目は、松山空港にバスでお迎えに行き、一路石鎚山脈「瓶ヶ森」へ。瓶ヶ森は四国の水源とも言える場所で、愛媛だけでなく、徳島へと流れる「吉野川」や、高知へと流れる「仁淀川」など、四国の水の源です。標高1897m付近には、なだらかな平原が広がり山の上とは思えない景色。この旅では、そんな瓶ヶ森を石鎚山を知り尽くした自然学校のガイドで巡ります。なかなか味わうことのできない貴重な体験をご用意します。</p> <p>二日目は、石鎚山脈から流れてくる「水」で生活をする町を体験します。市のほとんどが「打ち抜き水」で生活をする西条市。飲み水はもちろん、農業や工業、そしてこの水のおかげで生まれた文化や産業を体験します。水が人の生活にどうつながっていくのかを感じながら、美味しい食べ物や文化に触れます。</p> <p>そして三日目は、いよいよ海へ。</p> <p>まず向かうのは、瀬戸内海の中央に位置する大三島に鎮座する大山祇神社。島にありながら、お祀りされる神様は「山の神」。戦いの神として紹介されることの多い大山祇神社ですが、本来の意味は、古事記の中でイザナギとイザナミの間に生まれた山の神「大山積神」。昔の人が考えた、山と海との循環を物語るような場所です。またこの神社には、武具や甲冑などの国宝が多く奉納されており、誰もが知る武将たちの息吹が聞こえてくるかのようです。今回はそんなお宝を展示する「宝物館」も見学します。</p> <p>そして次は、日本遺産に認定された「日本最大の海賊村上海賊」の島「大島」へ。島全体を城にした海城があった「能島」周辺を観潮船で巡ります。一年中青い緑が生い茂る島々や美しい海、また日本三大潮流の一つでもある来島海峡の渦などを体験ながら船で巡ります。また、潮流の中で育った美味しい魚介類をバーベキューで堪能。そして、日本の絶景展望台ベスト2に選ばれた「亀老山」へ。聖徳太子に由来する山の名前の「亀老山」は360度瀬戸内海を見渡せる、一生に一度は見たい絶景の一つ。また遠くにはスタートした石鎚山を見ることができ、山と海の繋がりを最後にもう一度感じることもできる場所でもあります。</p> <p>海と山が一体となった西条市と今治市は絶景やグルメを楽しむだけでなく、「水」と「命」について考えるきっかけとなる絶好の場所です。また、専門員によるガイドや地元の歴史や文化に詳しい添乗員が全ルートを同行。一般の旅では味わえない奥の深い旅を提供します。なお、ご要望によりルートのアレンジも可能。</p> <p>愛媛のお年寄りの言葉。「山は海の恋人、海は山の恋人」。山と海はどちらが欠けても命は育まれない。西条市と今治市はそれを体験できる地域。この旅を通じて、全国、また世界へ「水」の大切さと自然の美しさ、命の循環を伝えていきたいと思ひます。</p>			

【安全確保のための配慮】		【旅行者の満足感を高めるための工夫、快い旅行にするための配慮】	
○添乗員同行で安全管理を行う ○専門分野を持つ NPO 法人のガイドや歴史・文化に詳しい添乗員の同行。 ○コース内の危険個所を事前に調査し入念な準備を行う		○西条自然学校のガイドによる水の恵みについての解説を行い、より深く石鎚山地域の魅力を知っていただく。 ○地元産の食材にこだわり水の恵みとともに、愛媛の美味しいものをあじわっていただく。	
【企画協力（後援）機関・団体名等】	【主な役割】	【企画協力（後援）機関・団体名等】	【主な役割】
① 特定非営利活動法人西条自然学校	山や干潟等のガイド	⑤ 宮窪漁協	潮流体験・バーベキュー
② 森田屋	和紙作り体験	⑥ 宮窪漁協	潮流体験、バーベキュー
③ 成龍酒造	酒蔵見学、お話	⑦ コンテックス	今治タオルガイド
④ こけし食堂	西条の水で作った食事	⑧	
【特記事項】			
【催行実績】	無		

【行程表】	
1日目	松山空港＝＝＝道の駅天空の郷さんさん＝＝＝土小屋＝＝＝瓶ヶ森（昼お弁当）（源流）＝＝＝ホテル
2日目	ホテル＝＝＝西条市内水巡り＝＝＝干潟巡り（加茂川河口）＝＝＝こけし食堂（昼食）＝＝＝森田屋（和紙作り体験） ＝＝＝成龍酒造＝＝＝ゆきもと農園（農園カフェ）＝＝＝ホテル
3日目	ホテル＝＝＝しまなみ海道＝＝＝大山祇神社&宝物館＝＝＝道の駅＝＝＝宮窪能島水軍（バーベキュー）＝＝＝ 潮流体験＝＝＝亀老山＝＝＝コンテックス＝＝＝松山空港

【主な観光ポイント（観光地・観光箇所の歴史、由来、土産品など）】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
 <p>【瓶ヶ森林道（UFOライン）】 四国の水の源「瓶ヶ森」を走る、瓶ヶ森林道。高知県と愛媛県の県境を約 27 kmにわたり貫く道。最高地点は標高が 1690m あり、まさに天空のドライブコース。晴れた日には太平洋から瀬戸内海まで一望できる大パノラマ。笹原・雲海・紅葉・新緑…。四季折々に変化する自然を堪能できます。一生に一度は見ておきたい心に残る絶景をご覧ください。</p>	 <p>【瓶ヶ森】 標高 1,897m。日本百名山の一つで愛媛県三番目に高い山。ここに、瓶ヶ森の名前の由来の場所でもあり、石鎚山脈の山岳信仰の始まりの場所。ここに美しい水が枯れることなく溜まり続ける瓶壺。この水が川となり、海へと流れていく原点とも言える場所。瓶ヶ森周辺を、ガイドの案内で巡ります。水の話、植物の話など、石鎚山の自然について学びます。</p>	 <p>【西条市うちぬき水】 日本名水百選にも選ばれた、石鎚山の伏流水が西条市内では至る所で湧き出ています。西条市ではこの伏流水が噴き出すことから「打ち抜き水」と呼ばれています。石鎚山の山の中に浸みこんだ水が何年もかけて西条市内の地下へ。一年中枯れることのない豊かな水のおかげで、西条市では、全世帯お 8 割が自宅に井戸を掘り、源水をそのまま飲んでいきます。そんな打ち抜き水を、西条自然学校の方に案内していただきます。</p>

【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
		
<p>【干潟巡り】 干潮時、石鎚山系を源流とする加茂川の河口には、瀬戸内海有数の広さを誇る300ha以上の干潟が現れます。ここは、シギ・チドリ類をはじめ多くの渡り鳥が渡来することで、日本の重要湿地500や重要野鳥生息地にも選定されています。干潟や海と川の境目。干潟を学び知ることが水の大切さを知ることにもつながります。西条自然学校のガイドによる干潟湿地巡り。水の循環を考え、残されている自然に目を向けるきっかけにしたいと考えています。</p>	<p>【こけし食堂】 古民家を改装し、地元の食材を使用して作る食堂。お店で使用するお米は、石鎚山の麓で、“自然栽培”で、店主自らが作ります。こけし食堂のお米は農薬はもちろん、化学肥料や動物性有機肥料なども一切使用していません。美味しい水で作る新鮮な野菜やお米の味は都会ではなかなか味わえない。大地の恵みがぎゅっと詰まった、西条の味を堪能していただきます。</p>	<p>【稲】 一面に広がる田園風景。水田面積は四国一。県内の25.4%を占めています。石鎚山の水の恵みで作られる美味しいお米。また旅を開催する初夏から秋にかけて、西条の田園は鮮やかな緑から黄金色に変化。水の恵みと豊かな土がおりなす田園風景をご覧いただきたいと思います。</p>

【ポイント7】	【ポイント8】	【ポイント9】
		
<p>【森田屋（手すき和紙作り体験）】 周桑和紙を作る、森田屋。周桑和紙は「愛媛の自然と暮らしが育んだ強い和紙」。農業だけでは生きていけないと、子供たちを育てるために和紙を漉き始めたのが始まりと言われています。この土地の恵みを生かし子供たちを育てる知恵。そんな知恵から始まった和紙作りは、石鎚山から流れ出る豊富な地下水があるからでした。現在、森田屋ではだれでも簡単にできる、手すき体験を行っています。外国の方や子供たちにも人気の手すき和紙体験。自分で作った和紙はお土産にもって帰っていただきます。</p>	<p>【成龍酒造】 酒蔵は故郷とともに育ってきた文化だと考える「成龍酒造」。石鎚山の伏流水により酒はもちろん、豊かな食文化が発展してきました。その土地の持つ食文化や蔵に長年住みついた酵母、脈々と湧き出る天然地下水、また造り手の想いや受け継がれてきた伝統の技を大切にしながら作られるお酒の味をぜひ味わっていただけたらと思います。また「水」と「酒」をキーワードに、それに繋がる歴史や文化や食が地域を支え育んできた様子を感じていただけたらと思います。旅の記念のお土産にもぴったりです。</p>	<p>【ゆきもと農園】 いちごやぶどう狩りができる人気の農園。このツアーでは、農園で作ったいちごを使用したアイスクリームやかき氷を提供したいと思います。西条市は、豊かな水のおかげで果物栽培が盛んな地域でもあります。農園で食べることで、その成り立ちにも触れることができ、また新鮮な果物を使った手作りの味の美味しさを味わっていただきたいと思います。愛媛と言えば“みかん”ですが、それ以外の果物もアピールしたいと思います。</p>

【ポイント10】	【ポイント11】	【ポイント12】
		
<p>【休暇村せとうち東予】 愛媛県今治にほど近い瀬戸内海国立公園に位置する、全室オーシャンビューの大パノラマが広がる絶景リゾートホテル。 ホテルからは瀬戸内海と石鎚山を同時に眺望でき、山と海の繋がりを感じることもできる場所でもあります。 ホテルの下には、「日本の渚百選」に指定された美しい白浜の海岸もあり、夏には海蛍を見ることが出来ます。またお食事は、瀬戸内海の新鮮な魚や郷土料理が並び、季節に合わせて旬の魚を用意します。石鎚山の水が直接海に流れ込みその栄養が海の栄養となり、海の命を育む。そんなことを実感として感じることができるホテルを選びました。</p>	<p>【温泉】 ホテルは、道後、鈍川と並び伊予の三湯のひとつである本谷温泉を源泉とする「ひうちなだ温泉」。またpH値の高いお湯は古くから“美人の湯”としても有名。露天風呂（男）からは遠くに西日本最高峰「石鎚山」を眼下に河原津海岸を、露天風呂（女）からは瀬戸内海に浮かぶ島々を一望にでき、展望温泉大浴場からは、瀬戸内海と遠くに石鎚山を望むことができます。一日の疲れをいやし、山の恵みと海の恵みを同時に体感できる温泉です。</p>	<p>【しまなみ海道】 四国愛媛県今治市と広島県尾道市を結ぶ全長約70kmの高速道路。8つの島を7つの橋で結び、日本で初めての海峡を横断する自転車道（瀬戸内海横断自転車道）があり、今世界中からサイクリストの聖地として知られています。石鎚山から流れてきた水は、ここしまなみ海道の海へと繋がっています。しまなみの魚が美味しいのは、石鎚山があるからだとも言われ、島の人々は古来より、海と山の神様をどちらも大切に信仰してきました。それを物語るように、島のあちこちに石鎚山の神様「石鎚大権現」が祀られています。美しい景色を眺めながら、海と山に繋がる瀬戸内海の聖地へ向かいます。</p>

【ポイント13】	【ポイント14】	【ポイント15】
		
<p>【大山祇神社】 瀬戸内海のほぼ中央に位置する大三島に鎮座される、「大山祇神社」。その起源は諸説ありますが、一番古い伝承では、今から2600年前と伝わる日本最古級の神社です。また平安時代には、日本で唯一「日本総鎮守」の称号を与えられた神社でもあり、代々の天皇や武将が奉納した鏡や鉾、鎧など、多くの国宝や国の重要文化財があります。 大山祇神社のご祭神は、「大山積神」。瀬戸内海の島にある神社にも関わらず、ご祭神が「山の神」。古代の人々の海と山の繋がりを感じることもできる、日本で唯一の場所でもあります。愛媛では、「海は山の恋人。山は海の恋人」と呼ばれ、現代人が忘れかけている、山と海の間接を感じながら巡りたいと思います。</p>	<p>【宝物館】 大山祇神社に隣接する博物館。大山祇神社の宝物館は紫陽殿、大三島海事博物館（葉山丸記念館）、国宝館の3館があります。紫陽殿、国宝館には、飛鳥時代の天皇、齊明天皇が奉納の禽獣葡萄鏡（国宝）、源義経奉納の赤絲威鎧・大袖付（国宝）、源頼朝奉納の紫綾威鎧・大袖付（国宝）など、国宝と国の重要文化財に指定されている武具の40%が大山祇神社にあります。山の神という側面だけでなく、歴代の武将たちにも崇敬された証をここに見ることができます。 小さな島に鎮座する神社がなぜここまで崇敬されたのか。そんなミステリアスな謎に触れながら、脈々と受け継がれた日本の歴史を海にかこまれたこの島でご覧いただきたいと思います。</p>	<p>【道の駅 御島】 大山祇神社に隣接し、地元の多彩な特産品コーナーをはじめ、観光案内コーナーやレンタサイクル、温水シャワーも完備している重点道の駅。こちらのおすすめは、地元産の柑橘類が豊富なこと。また地元の農家の方々出品した新鮮な野菜、地元産のジュースやジャムなどの加工品を販売しています。しまなみ海道のお土産をじっくり選んでいただきたいと思います。</p>

【ポイント16】	【ポイント17】	【ポイント18】
		
<p>【海鮮バーベキュー】 しまなみの海の恵みをたっぷり。愛媛県今治市沖に浮かぶ島「大島」。日本三大潮流が流れる来島海峡に位置し、新鮮で身の引き締まった魚介類を食べることができます。 この旅では、漁協が経営するレストランで、獲れたての貝や魚をバーベキューにさせていただきます。 目の前に海を眺めながら、都会では味わうことのできない新鮮な魚介類の味を、贅沢に味わっていただきたいと思います。</p> <p>(写真はイメージです)</p>	<p>【日本遺産（村上海賊の島）】 「日本最大の海賊」と呼ばれた、村上海賊の本拠地、能島。嘗て海賊たちが城を築き活躍した「能島」を海上から見る事ができる観潮船から見ます。 島は、周囲 720m、面積 1.5ha と決して大きな島ではありませんが、島全体を城にしている海城。現在も船かくし、けい船などに使ったと見られる柱花が残っていたり、海賊たちの生きた跡を見ることができます。 ここ宮窪海峡は、潮をよめる人がいないと進むことができない難所。海賊たちはここで、「水先案内人」として活躍していました。海外の「パイレーツ」ではない、日本の「海賊」の歴史と真の姿を知っていただきたいと思います。</p>	<p>【潮流体験】 大島と伯方島との間を流れる、日本有数の潮流を間近で体感できる観潮船。 国指定史跡の能島周辺に渦巻く宮窪瀬戸の激しい潮流や、船が折れるほどの潮流が流れると言われる船折瀬戸、神秘的な伝説の残る鶏小島や鯛崎島などを巡る、歴史ロマンあふれる約 40 分間のクルーズ。途中エンジンを切って潮流に身をまかせ、川に落ちた笹舟のようにくるくる回転する様はスリル満点。複雑な潮の流れを熟知した熟練の船頭の軽快な舵さばきで波をかき分け進む船は、他では味わえないアドベンチャーです。</p>

【ポイント19】	【ポイント20】	【ポイント21】
		
<p>【亀老山】 しまなみ海道最南端の島「大島」の南部にある山「亀老山」。標高 307m、山頂には展望台が設置され、日本の展望スポットランキング第 2 位になった、人気の観光スポットです。360 度見渡せる展望台からは、もちろん石鎚山も望むことができ、「山から海へ」というこの旅の締めくくりにはぴったりの場所でもあります。</p>	<p>【コンテックス】 今治にある「タオルガーデン」。タオル会社の敷地内にある、赤レンガのおしゃれなタオルショップです。 地元の老舗タオル会社敷地内にある、1950 年に建築された昔の織物工場をリノベーションした店内に、自社企画のコンテックスブランドのタオルが並びます。 「今治タオル」が今治の主の産業となった理由の一つに「水」があります。タオルを製造する過程で、とても重要な意味を持つ「水」。今治の水はタオルが柔らかくなる性質があるといえます。 今治のお土産と言えば「今治タオル」。旅の最後のお土産に立ち寄りたいたいおすすめのスポートです。</p>	<p>【今治タオル】 今世界的にもその品質のよさが認められている「今治タオル」。 今治タオルは、独自の品質検査をしています。たとえば「5秒ルール」。タオル片を水に浮かべたとき、5秒以内に沈み始めるかどうか。今治タオルの最大の特徴である「吸水性」を保証するため、産地で独自に設けた品質基準のひとつです。このような基準を満たしたものが、今治タオルのロゴをつけて販売されています。 また、温暖な気候と豊かな水源。この恵まれた自然が、日本屈指のタオル産地・今治を育てました。とりわけ、豊かに流れる蒼社川の伏流水は、タオルづくりに適した軟水です。この水のおかげで、糸や生地にやさしく、繊細で鮮やかな色の表現や、綿が本来持っているやわらかさを十分に引き出すことができるといわれます。</p>